平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 みらかホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号 4544　URL http://www.miraca-holdings.co.jp/
代表者　(役職名) 代表執行役社長　(氏名) 鈴木 博正
問合せ先責任者　(役職名) 執行役　(氏名) 工藤 志郎　TEL 03-5909-3337

四半期報告書提出予定日　平成26年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	152,569	5.6	20,930	2.9	21,421	4.6	12,381	4.4
25年3月期第3四半期	144,503	13.1	20,340	11.9	20,476	15.5	11,861	19.5

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　23,951百万円　(45.0%)　25年3月期第3四半期　16,516百万円　(110.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	211.39	210.81
25年3月期第3四半期	203.41	203.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	237,470	156,741	65.9	2,669.37
25年3月期	220,912	137,335	62.0	2,344.33

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　156,482百万円　25年3月期　137,035百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	37.00	―	43.00	80.00
26年3月期	―	43.00	―		
26年3月期(予想)				43.00	86.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	197,500	2.8	26,100	2.0	26,000	1.0	15,100	1.5	257.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
②①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 無
④ 修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	58,865,466 株	25年3月期	58,695,166 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	243,810 株	25年3月期	241,011 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	58,575,039 株	25年3月期3Q	58,311,104 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の3ページをご参照ください。
(四半期決算補足説明資料の入手方法)
四半期決算補足説明資料は平成26年2月5日(水)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における世界経済は、主要新興国の成長鈍化が長期化する一方、底固さを増す米国経済に牽引され、全体として緩やかな成長基調となりましたが、米国における財政協議問題の再発懸念や欧州における金融リスクなど、不透明感が残る状況で推移しております。

わが国においては、消費税率引き上げの影響や世界金融市場の変動など先行きに一定のリスクが想定されるものの、政権主導の経済政策が奏功し、継続的な景気回復が見られております。

臨床検査業界におきましては、引き続く価格低下圧力及び同業他社との競争激化を反映して、厳しい事業環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループといたしましてはさらなる成長を遂げるための経営諸施策に積極的に取り組んでまいりました。

これらの結果といたしまして、当第３四半期連結累計期間の売上高は152,569百万円(前年同四半期比5.6%増)となりました。国内の受託臨床検査事業での検査受託数の増加及び為替変動による売上高へのプラス影響が主要因で増収となりました。利益面では、国内の受託臨床検査事業における増収を主要因とした増益が寄与したことにより、営業利益は20,930百万円(前年同四半期比2.9%増)、経常利益21,421百万円(前年同四半期比4.6%増)、四半期純利益12,381百万円(前年同四半期比4.4%増)となりました。

なお、当社の米国子会社であるMiraca Life Sciences Inc.は、平成25年10月、米国で病理検査サービスを提供するLakewood Pathology Associates,Inc. (d/b/a PLUS Diagnostics) を子会社化いたしました。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

(セグメントの業績)

■臨床検査薬事業

海外子会社において前年第１四半期に発生した一過性収益に対する反動減があったものの、為替変動による売上高へのプラス影響から増収となりました。利益面では、上記一過性収益に対する反動減が影響し減益となりました。これらの結果、売上高は32,067百万円（前年同四半期比4.4%増）、営業利益は6,924百万円（前年同四半期比9.3%減）となりました。

■受託臨床検査事業

国内事業において新規分野及び感染症分野の検査受託数の増加が増収に寄与したことに加え、為替変動に伴うプラス影響があったことから増収となりました。利益面では、国内の受託臨床検査事業における増収が主要因となり増益となりました。これらの結果、売上高は99,396百万円（前年同四半期比6.4%増）、営業利益は11,467百万円（前年同四半期比11.3%増）となりました。

■ヘルスケア関連事業

滅菌事業につきましては、継続して受託病院の新規獲得に努めた結果、売上高は11,845百万円（前年同四半期比10.2%増）となりました。

治験事業につきましては、引き続き新規案件の獲得に注力しましたが、大型案件の終了の影響から売上高は4,172百万円（前年同四半期比12.1%減）となりました。

これらの結果、ヘルスケア関連事業の売上高は21,105百万円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益は2,569百万円（前年同四半期比7.9%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ16,558百万円増加し、237,470百万円となりました。その主な要因は、のれんの増加7,876百万円、顧客関連無形資産の増加5,508百万円、受取手形及び売掛金の増加2,703百万円、有形固定資産の増加2,671百万円及び無形固定資産その他の増加1,029百万円があった一方、現金及び預金の減少3,725百万円があったためであります。

当第３四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ2,847百万円減少し、80,728百万円となりました。その主な要因は、流動負債その他の増加3,419百万円、固定負債その他の増加1,759百万円及び支払手形及び買掛金の増加579百万円があった一方、長期借入金の減少4,014百万円、賞与引当金の減少2,964百万円及び未払法人税等の減少1,849百万円があったためであります。

当第３四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ19,406百万円増加し、156,741百万円となりました。その主な要因は、当第３四半期純利益12,381百万円及び為替換算調整勘定の増加11,766百万円があった一方、配当金の支払5,033百万円があったためであります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.9%増加し、65.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3,713百万円減少し、29,140百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は20,143百万円（前年同四半期20,814百万円の獲得）となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益20,842百万円、非資金支出項目である減価償却費7,848百万円及びのれん償却費2,713百万円があった一方、法人税等の支払額10,228百万円及び賞与引当金の減少3,055百万円があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は14,703百万円（前年同四半期5,267百万円の使用）となりました。その主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出7,964百万円、有形固定資産の取得による支出4,869百万円及び無形固定資産の取得による支出1,958百万円があったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は9,628百万円（前年同四半期9,017百万円の使用）となりました。その主な要因は、配当金の支払額5,019百万円及び長期借入金の返済による支出4,042百万円があったためであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の連結業績予想につきましては、平成25年５月２日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

平成26年３月期の連結業績予想にかかる売上高は、臨床検査薬事業において国内及び海外でルミパルス試薬製品の増収を見込んでいること、また、受託臨床検査事業において国内の新規施設獲得と拡販及び海外子会社の増収を見込んでいることなどから、対前年同期比増収となる見通しであります。

利益面では、臨床検査薬事業において前年度一過性収益に対する反動減及びルミパルス製品の海外販売拡大のための一定の先行投資を見込む一方、各事業において増収による利益増を見込んでいることから、営業利益、経常利益、当期利益ともに対前年同期比増益の見通しであります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,877	23,152
受取手形及び売掛金	35,197	37,901
有価証券	6,000	6,000
商品及び製品	4,754	4,984
仕掛品	4,930	4,974
原材料及び貯蔵品	4,249	5,069
その他	9,520	9,897
貸倒引当金	△1,978	△2,256
流動資産合計	89,552	89,723
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,945	18,117
工具、器具及び備品（純額）	5,522	6,199
土地	8,925	9,459
その他（純額）	5,402	5,691
有形固定資産合計	36,796	39,468
無形固定資産		
のれん	50,223	58,100
顧客関連無形資産	24,839	30,348
ソフトウエア	2,855	3,007
その他	6,494	7,523
無形固定資産合計	84,413	98,979
投資その他の資産		
投資有価証券	2,775	2,393
その他	7,391	6,919
貸倒引当金	△16	△13
投資その他の資産合計	10,150	9,299
固定資産合計	131,359	147,747
資産合計	220,912	237,470

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,645	11,225
1年内償還予定の社債	230	50
1年内返済予定の長期借入金	4,027	4,000
未払金	5,471	6,051
未払法人税等	4,172	2,322
賞与引当金	5,185	2,220
その他	8,726	12,145
流動負債合計	38,459	38,015
固定負債		
社債	10,025	10,000
長期借入金	12,264	8,250
退職給付引当金	5,961	5,892
資産除去債務	711	656
その他	16,154	17,914
固定負債合計	45,117	42,713
負債合計	83,576	80,728
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,058	8,329
資本剰余金	23,780	24,051
利益剰余金	92,438	99,787
自己株式	△523	△536
株主資本合計	123,754	131,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	883	685
為替換算調整勘定	12,398	24,165
その他の包括利益累計額合計	13,281	24,850
新株予約権	299	258
純資産合計	137,335	156,741
負債純資産合計	220,912	237,470

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	144,503	152,569
売上原価	86,494	90,046
売上総利益	58,009	62,522
販売費及び一般管理費	37,668	41,591
営業利益	20,340	20,930
営業外収益		
受取利息	16	26
受取配当金	57	42
為替差益	30	255
受取精算金	―	279
資産除去債務戻入益	290	―
その他	478	357
営業外収益合計	873	961
営業外費用		
支払利息	414	357
持分法による投資損失	71	44
その他	251	69
営業外費用合計	738	471
経常利益	20,476	21,421
特別利益		
固定資産売却益	64	48
新株予約権戻入益	95	11
その他	20	4
特別利益合計	180	64
特別損失		
固定資産除却損	100	105
減損損失	536	136
事業構造改善費用	―	380
その他	4	21
特別損失合計	641	643
税金等調整前四半期純利益	20,015	20,842
法人税、住民税及び事業税	6,226	7,759
法人税等調整額	1,927	700
法人税等合計	8,153	8,460
少数株主損益調整前四半期純利益	11,861	12,381
四半期純利益	11,861	12,381

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	11,861	12,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	487	△197
為替換算調整勘定	4,167	11,766
その他の包括利益合計	4,655	11,569
四半期包括利益	16,516	23,951
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,516	23,951

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	20,015	20,842
減価償却費	8,134	7,848
のれん償却額	2,273	2,713
賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,737	△3,055
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△10	△73
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△322	△276
受取利息及び受取配当金	△74	△68
支払利息	414	357
持分法による投資損益（△は益）	71	44
売上債権の増減額（△は増加）	△19	△608
たな卸資産の増減額（△は増加）	△30	△492
その他の流動負債の増減額（△は減少）	2,504	3,147
その他	232	318
小計	31,451	30,697
利息及び配当金の受取額	74	68
利息の支払額	△454	△394
法人税等の支払額	△10,257	△10,228
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,814	20,143
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,788	△4,869
無形固定資産の取得による支出	△1,395	△1,958
子会社株式の取得による支出	△3	－
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△56	△7,964
その他	△23	89
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,267	△14,703
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△10	－
長期借入金の返済による支出	△4,125	△4,042
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△713	△769
株式の発行による収入	240	458
配当金の支払額	△4,183	△5,019
その他	△225	△254
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,017	△9,628
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	474
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	6,527	△3,713
現金及び現金同等物の期首残高	24,729	32,854
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,256	29,140

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	臨床検査薬事業	受託臨床検査事業	ヘルスケア関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	30,710	93,407	20,384	144,503	－	144,503
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,494	1,708	260	4,462	△4,462	－
計	33,205	95,115	20,645	148,966	△4,462	144,503
セグメント利益	7,637	10,307	2,380	20,325	14	20,340

（注）１．セグメント利益の調整額14百万円は、セグメント間取引消去1,781百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,767百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当四半期連結会計期間において、重要な減損損失はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

重要な変動はありません。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間（自平成25年４月１日 至平成25年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	臨床検査薬事業	受託臨床検査事業	ヘルスケア関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,067	99,396	21,105	152,569	－	152,569
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,658	1,382	261	4,302	△4,302	－
計	34,726	100,778	21,367	156,872	△4,302	152,569
セグメント利益	6,924	11,467	2,569	20,961	△30	20,930

（注）１．セグメント利益の調整額△30百万円は、セグメント間取引消去1,483百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,514百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当四半期連結会計期間において、重要な減損損失はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

当四半期連結会計期間において、当社の米国子会社であるMiraca Life Sciences,Inc.が、新たに設立した買収目的会社を吸収合併させることにより、Lakewood Investment Corp.（現・Miraca Life Sciences Holdings,Inc.）及びその子会社であるLakewood Pathology Associates,Inc.（d/b/a PLUS Diagnostics）を取得しました。

当該事象によるのれんの増加額は、当第３四半期連結累計期間においては、「受託臨床検査事業」セグメントで4,437百万円であります。なお、のれんの金額は取得原価の配分等が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。